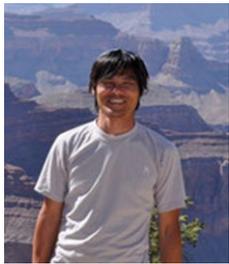


基調講演講師等一覧

所属	株式会社いただきますカンパニー	-	慶應義塾大学
役職	代表取締役	イラストレーター	教授
氏名	井田 芙美子 (いだ ふみこ)	鈴木 みき (すずき みき)	野口 和行 (のぐち かずゆき)
写真			
プロフィール	<p>1980年札幌生まれ。盤溪幼稚園、盤溪小学校出身。</p> <p>羊飼いを目指して帯広畜産大学で農業経営を専攻しつつ、足寄少年自然の家ボランティアスタッフや羅臼町の知床探検隊スタッフ養成講座など野外教育活動に関わる。卒業後はカナダやネパールでのバックパッカーを経て然別湖ネイチャーセンターに所属。農業の経験と野外教育やインタープリテーションのノウハウを融合し、日本で始めて「畑ガイド」の仕組みを確立した。独自の育成プログラムで、元小学校教諭、元農協職員など地域のシニアをプロガイドとして養成するシステムが全国から注目されている。コロナ禍でも教育旅行の受入れやオンラインファームツアーなど新規事業を開発、発展させ、2022年に創業10周年を迎えた。創業当初からのテレワーク体制整備や子育てと会社経営の両立、二拠点生活など固定概念に捕られない生き方で地方の女性たちにも勇気を与えている。</p>	<p>1972年東京生まれ、札幌在住5年目。</p> <p>24歳のときに訪れたカナダで山旅の魅力にはまり、帰国後に自ら登山専門誌の取材同行モデルに応募し本格的に登山をはじめ。山小屋やスキー場のアルバイトをしながら、全国の山に取材に出かけイラストや山行文を雑誌に寄稿。その登山経験を活かして描いたコミックエッセイ「悩んだときは山に行け！」(平凡社)が当時まだ多くはなかった若い女性登山者にヒット。のちの「山ガールブーム」の背中を押した。その後は執筆のかたわら国内外での登山ツアーの企画同行、講演、メディア出演なども行ってきたがコロナ禍になり中断、昨年夏は大雪山にある白雲岳避難小屋の管理人のひとりとして常駐。現在は静かに執筆活動にいそしんでいる。最新刊は今年4月に出版された「マウンテンガールズ・フォーエバー」(エイアンドエフ)、初の小説作品となる。</p>	<p>1967年東京生まれ。専門は野外教育・レクリエーション。JOLA運営委員。</p> <p>中学生の頃創刊されたアウトドア雑誌「BE-PAL」でアウトドアに興味を持ち、友達に組んでもらったツーリング用の自転車でキャンプ泊の自転車ツーリングにでかける。大学2年生のときに、授業で「教育の手段としてのキャンプ」に出会い、そこで感じた仲間との特別な空間と時間に衝撃を受け、野外教育を専攻する。</p> <p>現在は、大学生を対象に野外活動の授業を担当し、日々学生と自然の中で様々な活動を楽しんでいる。また、発達障がいのある子どもたちを対象とした自然体験活動プログラム「プチ冒険倶楽部」を立ち上げ、子どもたちが自然の中での楽しい活動やチャレンジの必要な活動を通して、子どもたちが持っている可能性を広げ、全ての人がある個性に応じて自分らしく生きていくための支援を目的として活動している。</p>
タイトル	アウトドア業界にダイバーシティ&インクルージョンを取り入れたら、いただきますカンパニーが生まれた話	北海道には本物のアウトドアがある！	改めて「アウトドア」と「教育」を考える

トークセッション ファシリテーター

白川 美穂 (NPO法人登別自然活動支援組織モモンガくらぶ事務局長、国立日高青少年自然の家運営協議会北海道アウトドア専門委員、北海道アウトドアネットワーク推進委員長)